

一以貫之

平成29年度 敦賀気比高等学校 第1学年
 学年通信 第14号
 平成30年3月20日(火)

(いちいかんし)

「一を以って之を貫く」とも読みます。
 孔子の『論語』にある言葉で「一つの思いを 曲げずに貫き通す」という意味です。
 自分がこれと思ったことは、諦めずに最後まで頑張り通しましょう!

新学年に向けて

第一学年 主任 時岡隆夫



早いもので、本日で平成29年度が終了しました。
 入学式からの1年間はみなさんにとって充実していましたか。
 多くの生徒が時間に追われながらも勉学・部活動に積極的に取り組む姿が見られ、落ち着いた高校生活を送っていたと思います。
 来年度からは2年生、自分の将来について今以上に考えていく必要があります。
 進路決定のためには勉学・部活動に加えて、場に合った正しい行動・言葉遣い・気持ちのいい挨拶など人間性を高めていく態度が求められます。
 目的意識を持ち、何かにひたむきに打ち込むなかで、他人の立場を理解できる心も持ってほしいと思います。
 春季休業中、部活動などで忙しい日々が続くと思いますが健康管理をしっかりと行い、心もリフレッシュする時間もとって下さい。
 4月9日元気に登校してくれることを楽しみにしています。
 1年間お疲れさまでした。

春期特別講座の予定

※ 出張等により、時間割変更の可能性あります。
 ※ 期間は、26日(月)~30日(金)の5日間です。

特別進学コース

1年1組	1限 化学 中野	2限 国語 松本	3限 国語 松本	4限 英語 井筒
1年2組	1限 英語 松本	2限 英語 松本	3限 化学 松本	4限 国語 松本

進学コース

1年3/4/5組	1限 英語	2限 数学
----------	----------	----------

春期休業中の課題

課題提出締切日 4月9日(月)

	1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組
共通	レポート「私の未来予想図」の提出		レポート「私の未来予想図」の提出		レポート「私の未来予想図」の提出		
国語	補習課題の仕上げ		読点チェックプリント(5枚)		2年生に向けた基礎力定着プリント(3枚)		
数学	補習課題の仕上げ		読点チェックプリント(5枚)		2年生に向けた基礎力定着プリント(3枚)		
英語	補習課題の仕上げ		読点チェックプリント(5枚)		2年生に向けた基礎力定着プリント(3枚)		
社会	世界史 (学年履修表) 1年次の履修						
	日本史 (学年履修表) 1年次の履修						
	地理 (学年履修表) 履修プリント						
	化学基礎 補習課題の仕上げ						
理科	生物基礎 (学年履修表) 1年次の履修						
	物理基礎 (学年履修表) 1年次の履修			地理基礎 3年間の復習ワーク			
	地学基礎 (学年履修表) 1年次の履修						

新年度の行事予定(4月)



9日(月) 第1学期始業式
 21日(土) 休業日
 24日(火) 春季遠足研修(鯖江・西山公園)
 24日(水) 春季遠足研修・予備日
 26日(木) 検尿(~27日)
 28日(土) 休業日 県模試(進学希望者)

※ 特別進学コース以外の生徒で進学を希望する者は、始業式(4/10)までに、県模試の受験を申し出ることが望ましい。

【保存版】 偏差値にだまされるな!

学年通信の第10号から始めたこれからの進路に関するコラムの4回目(最終回)です。今回も**進学することを志す人を対象**に話をしたいと思います。

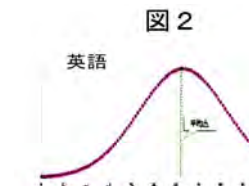
どの大学を選べばいいのかを迷ったときに参考にするものと言えば、偏差値です。今回は、この**偏差値**についての話したいと思います。
 まず最初は、「偏差値」の意味です。偏差値というのは、**ある集団の中で自分がどの位置にいるのかを表す数字**で、平均点をとった人の偏差値を50として、平均よりよい点数をとると数字が大きくなり、平均点より悪いと数字が小さくなります。

ここで注意したいのは、**偏差値の目盛は等間隔でない**ということです。
 ある集団の得点分布を調べると、右の図1のような山型になることが多いのですが、このような分布のしかたを「正規分布」といいます。

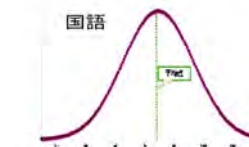


偏差値は、この分布をもとに、上位2%の人を70点台ないしはそれ以上の数字で、上位2%から16%の人を60点台に、上位16%から50%の人を50点台になるように計算した数字なのです。

では、なぜ面倒な計算が必要な偏差値が使われているのでしょうか。
 あなたが試験を受けた時のことを考えましょう。得点を見てみると、国語は55点で、英語は70点だったとします。



さて、国語と英語のどちらの順位がよいのでしょうか。
 単純に考えると、英語の順位がよさそうですが、仮に英語に比べて国語の方がむずかしい問題が出されていたとすると、国語の順位がよくなることだってあります。(図2)



こうして考えると、偏差値を使わなくても順位だけでいいともいえるのですが、同じ順位であったとしても、平均点との開きがどれ位あるのかも、善し悪しが出てきます。

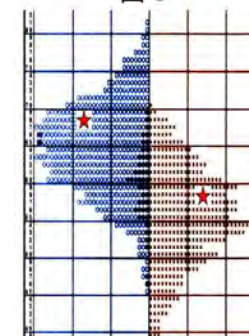
偏差値というのは、これらのことを考えて計算した数字なのです。

このように、異なる試験であっても、自分の位置がどの辺にあるのかを比較することができる偏差値ですが、ここには大事な前提があります。

それは、試験を受ける人(この集団のことを「母集団」と言います)が同じであるということです。

つまり、**母集団が異なれば偏差値は比較できない**ということです。

図3



同じ試験を受けたときの成績を、大学進学を目指す人(左側)と、そうでない人(右側)に分けると、おおむね図3のような分布になると考えられます。

それぞれの分布の中に示した「★」マークは、偏差値が60となる得点です。これを見れば、同じ偏差値60でも全く違った意味を持つことが分かります。

現在、特進コースの人が受験している校外模試(県模試)の分布が左側だとすると、進学コースや教養コースの人が受験している校外模試(実力テスト)の分布は右側に相当します。

そして、受験雑誌などに紹介されている偏差値(多くの場合、「難易度」という表現になっています)は、左側の分布から、受験すれば合格できるだろうと予想された数字だということを理解して下さい。

本校では、皆さんの学習意欲を高める事と、学習の定着度合いを測定することを目的として、各コースに合わせた校外模試を選択・実施しています。
 しかしながら、偏差値は、受験先決定に必要な情報ですので、より正確な情報を得たいと思うのなら、**進学を希望する進学コースや教養コースの人は、問題レベルは高いのですが、特進コースが受験する県模試も受験した方がよい**と思います。